

# サマーボランティア・キャンペーン2025 (ボランティア体験事業)

報告書及びアンケートの集計結果(抜粋)

サマーボランティア・キャンペーンはボランティア体験を目的とした期間限定の事業です

## Summer Volunteer Campaign

# サマーボランティア・キャンペーン2025

あなたもこの夏ボランティアをはじめませんか？



ホビー  
**Vabee**  
Volunteer bee

# 7.1-9.30

開催期間

**活動内容**

- ①施設利用者とのふれあいや介助等の手伝い
- ②施設行事への参加、協力による利用者とのふれあい
- ③ボランティア団体、当事者団体等との協働活動
- ④その他のボランティア活動海浜・月1回の清掃活動、在宅でもできるボランティアなど

\*努力のみの活動は除きます

**活動場所**

県内の社会福祉施設、ボランティア関係団体、その他

**お申し込みはQRコードからも！**



**参加対象・募集人数**

ボランティア活動に参加したい人  
※受入施設・団体等によっては小学生の参加には保護者同伴とさせていただきます

募集人数は受入施設・団体等の定員による

活動希望者は、ホームページからお申し込みください。  
(URL: <http://shakubou/nagasaki-volunteer.or.jp>)

長崎県内各市社会福祉協議会または長崎県社会福祉協議会ではボランティアに対する相談ができます。お気軽にご相談ください。

※申し込み後、何らかの事情で参加できなくなった場合は、活動希望者から参加予定施設へ必ず電話で連絡をお願いします。

(事務局)長崎県社会福祉協議会 地域福祉推進課 〒852-8555 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター2階  
 TEL: 095-846-8618 E-Mail: [vc@nagasaki-pref-shakyo.jp](mailto:vc@nagasaki-pref-shakyo.jp)

主催：長崎県社会福祉協議会 共催：長崎県内各市社会福祉協議会 後援：長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、県民ボランティア活動支援センター、長崎県社会福祉協議会連合協議会、長崎県老人福祉施設協議会、長崎県身体障害者福祉協議会、長崎県児童養護施設協議会、長崎県社会福祉法人経営者協議会、一般社団法人長崎県知的障がい者福祉協会、長崎県社会福祉センター協議会、一般社団法人長崎県老人保健施設協議会、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、N1B長崎国際テレビ、FM長崎、FMさせほ

## 目次

◎本事業の歩み	…	P1
◎本調査の目的	…	P2
◎全体集計	…	P3
I 施設・NPO法人・団体編 ○サマーボランティア・キャンペーン2025 報告書の集計結果	…	P5
II 社会福祉協議会編 ○地域プログラム集計結果	…	P9
III 参加者編	…	P16

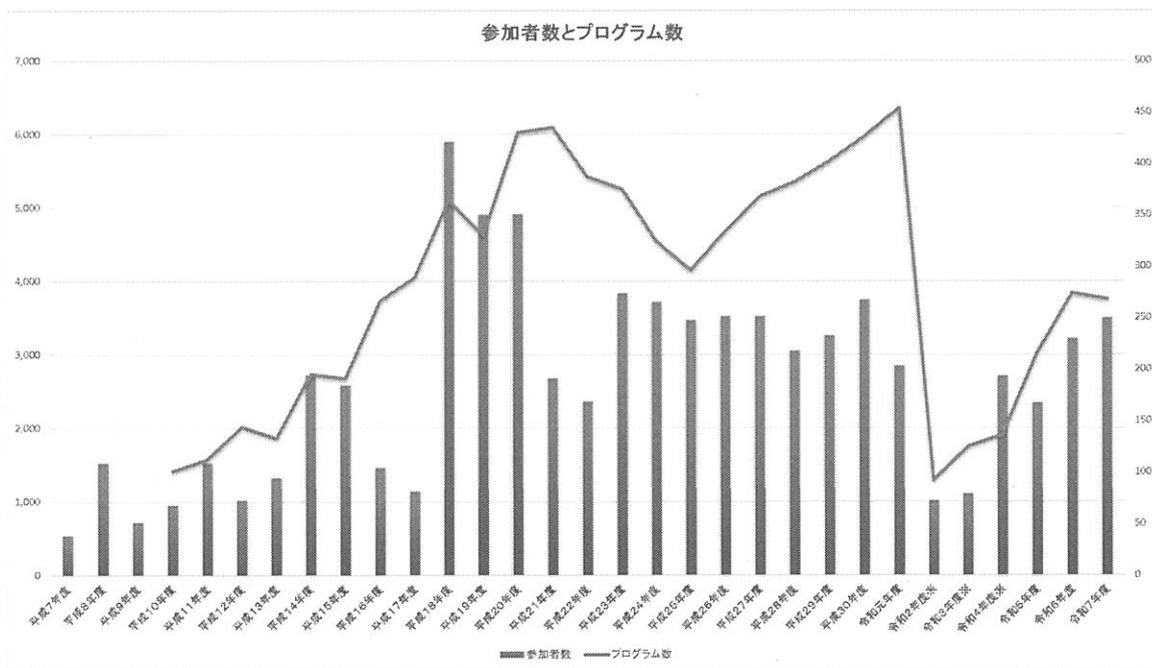


# 本事業の歩み

本事業の歩み

	プログラム数	延べ参加者数(人)	参加者数											合計(人)		
			小学生(人)	小学生のパーセント(%)	中学生(人)	中学生のパーセント(%)	高校生(人)	高校生のパーセント(%)	小学生・中学生・高校生以外の参加者数	小学生・中学生・高校生以外のパーセント(%)	一般社会人(人)	一般社会人のパーセント(%)	高齢者・その他(人)		高齢者・その他のパーセント(%)	
平成7年度	38	532														
平成8年度		1,521														
平成9年度		709														
平成10年度	101	947														
平成11年度	112	1,530														
平成12年度	144	1,016														
平成13年度	133	1,326	174	13	108	8	297	22	279	21	468	35		0	1,326	
平成14年度	195	2,726	261	19	231	16	507	36	108	8	298	21		0	1,405	
平成15年度	191	2,589	199	14	458	33	287	20	182	13	275	20		0	1,401	
平成16年度	266	1,460	74	13	139	24	163	29	65	11	127	22		0	568	
平成17年度	289	1,131	94	16	88	15	278	47	104	18	29	5		0	593	
平成18年度	364	5,898	1,285	34	492	13	638	17	198	5	1,089	29	43	1	3,745	
平成19年度	330	4,903	1,109	35	403	13	539	17	141	4	950	30	11	0	3,153	
平成20年度	430	4,913	932	34	308	11	506	18	216	8	801	29		0	2,763	
平成21年度	435	2,678	215	14	304	20	538	35	115	7	368	24		0	1,540	
平成22年度	387	2,362	401	19	301	14	462	21	129	6	864	40		0	2,157	
平成23年度	375	3,838	359	12	283	9	634	21	365	12	1,367	45		0	3,008	
平成24年度	324	3,717	397	14	376	13	780	27	224	8	1,110	38		0	2,887	
平成25年度	296	3,468	230	9	124	5	561	21	167	6	1,551	59		0	2,633	
平成26年度	334	3,524	361	14	129	5	652	25	128	5	1,353	52		0	2,623	
平成27年度	368	3,523	416	14	147	5	631	22	245	8	1,471	51		0	2,910	
平成28年度	382	3,054	530	21	209	8	414	16	134	5	1,230	49		0	2,517	
平成29年度	402	3,258	346	13	140	5	654	25	177	7	1,262	49		0	2,579	
平成30年度	426	3,744	274	10	211	8	1,100	40	202	7	975	35		0	2,762	
令和元年度	454	2,847	260	9	217	8	1,307	46	144	5	919	32		0	2,847	
令和2年度※	92	1,005	85	8	17	2	567	56	62	6	274	27		0	1,005	
令和3年度※	125	1,100	255	23	100	9	208	19	34	3	503	46		0	1,100	
令和4年度※	136	2,712	437	16	51	2	497	18	106	4	1,621	60		0	2,712	
令和5年度	216	2,345	352	15	137	6	293	12	166	7	1,183	50	214	9	2,345	
令和6年度	274	3,218	489	15	167	5	475	15	367	11	1,434	45	286	9	3,218	
令和7年度	268	3,501	448	13	376	11	556	16	281	8	852	24	988	28	3,501	

※令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で期間を変更して実施



# 本調査の目的

## サマーボランティア・キャンペーンと調査について

「サマーボランティア・キャンペーン2025」は令和7年7月1日から令和7年9月30日までボランティア体験事業として実施しました。

本年度は、225の施設・団体と12市町社協から268プログラムをご提供いただきました。これにより、参加者数は3,501人(対前年約108%)となりました。

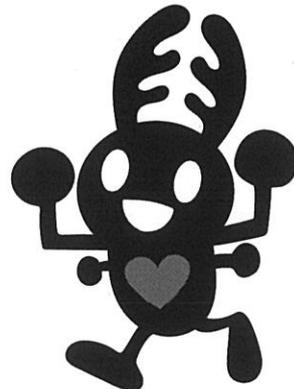
本会といたしましては、事業を通して県内ボランティアの推進に寄与することができたと考えております。

本調査の対象は「サマーボランティア・キャンペーン2025」にご参加いただいたボランティア受入団体及び市町社会福祉協議会、ボランティアの参加者です。

なお、本調査は「サマーボランティア・キャンペーン2025」のボランティアの参加状況とボランティアの受入状況を把握し、令和8年度ボランティア振興事業を効果的に進めるために実施いたしました。

最後に、本事業に関わっていただいたすべての皆様に感謝申し上げます。

# ありがとうございました



# 全体集計

## サマーボランティア・キャンペーン2025 報告書の集計結果(全体集計)

令和7年度225施設・団体(242プログラム)にご登録をいただき、3,501人にご参加をいただきました。本年度の参加者数は昨年度から233名増となりました。本年度は昨年度から一般が減少し、高齢者の参加者数が大きく増加しております。児童・生徒・学生と一般・高齢者の参加者の割合については変化は見られません。

### I. 報告書の回収数

225施設・団体(回収率/100%)  
21社協(回収率/100%)

### II. プログラム数

225施設・団体、242プログラム  
12社協、26プログラム

### III. 参加者数

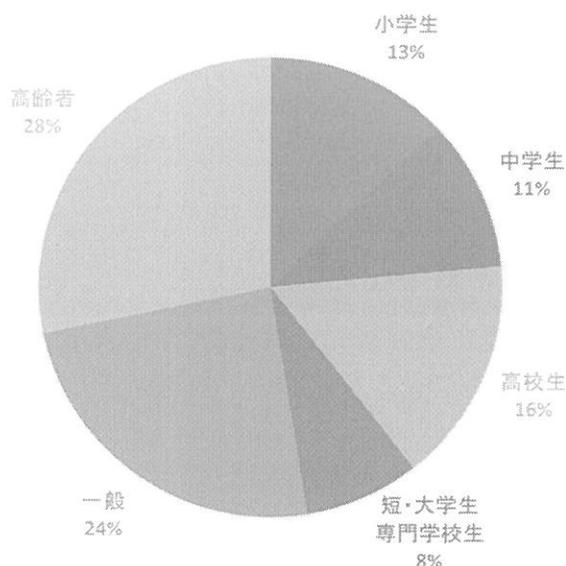
3,501人

〈内訳〉

(人)

小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	高齢者	計
448	376	556	281	852	988	3,501

参加者比



〈参加者数地域別内訳〉

(人)

市町名	小学生	中学生	高校生	大学・短大・専門学校	一般	高齢者	計
長崎市	30	19	193	100	86	126	554
佐世保市	65	39	21	51	93	0	269
島原市	32	0	0	49	33	0	114
諫早市	23	14	102	36	109	177	461
大村市	0	7	49	8	256	110	430
平戸市	33	42	34	0	7	44	160
松浦市	0	0	0	0	7	0	7
対馬市	0	37	11	0	132	0	180
壱岐市	0	79	30	0	0	0	109
五島市	0	0	23	1	47	12	83
西海市	1	13	35	0	6	246	301
雲仙市	3	2	13	3	1	0	22
南島原市	3	8	1	0	3	3	18
長与町	0	1	7	20	21	0	49
時津町	2	0	1	1	1	0	5
東彼杵町	0	0	4	0	0	0	4
川棚町	25	0	11	0	4	126	166
波佐見町	168	98	14	12	31	139	462
小値賀町	0	0	0	0	12	2	14
佐々町	29	7	7	0	3	3	49
新上五島町	34	10	0	0	0	0	44
合計	448	376	556	281	852	988	3,501

# 施設・NPO法人・団体編

サマーボランティア・キャンペーン2025  
報告書の集計結果(施設・NPO法人・団体編)

I. 参加施設・団体数

225施設・団体

(活動内容別内訳)

市町名	子どもに対するボランティア	高齢者に対するボランティア	障がい児・者に対するボランティア	団体・病院などでのボランティア	その他	合計
長崎市	22	12	11	4	6	55
佐世保市	9	6	3	0	2	20
島原市	1	3	4	0	0	8
諫早市	11	6	3	0	2	22
大村市	8	7	3	0	4	22
平戸市	1	9	1	1	0	12
松浦市	0	1	0	0	0	1
対馬市	0	3	0	0	0	3
壱岐市	1	0	1	0	0	2
五島市	4	5	0	0	0	9
西海市	3	8	0	0	5	16
雲仙市	1	4	1	0	1	7
南島原市	1	2	2	0	0	5
長与町	3	2	2	1	0	8
時津町	5	2	0	0	0	7
東彼杵町	1	1	3	0	0	5
川棚町	0	3	0	0	1	4
波佐見町	2	0	0	0	2	4
小値賀町	1	0	0	0	2	3
佐々町	2	3	0	1	0	6
新上五島町	0	5	1	0	0	6
合計	76	82	35	7	25	225

※プログラム登録の際、複数選択であったためプログラムの合計とは一致しない

II. 報告書の回収数

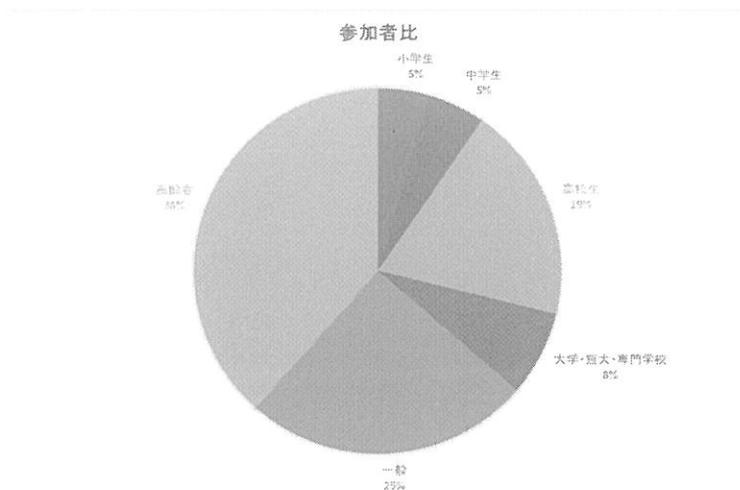
225施設・団体(回収率/100%)

III. 参加者数

2,350人

(内訳)

小学生	中学生	高校生	大学・短大・専門学校	一般	高齢者	合計
106	119	452	177	592	904	2,350



#### IV. ボランティアポータルサイトに関するご意見をお聞かせください

- ・ネット環境で、助かりました。書き込みもしやすかったです。
  - ・皆さん、社協等を通さず、直接施設にボランティアの申込みに来られました。
  - ・申込完了後の施設へのメールが遅いように感じました。
  - ・ボランティアの方々は、『施設からボランティア希望者へ連絡が来る』と思って待っていた人もいたので、ボランティア本人から施設へ連絡することを、さらに周知徹底していただければと思います。
  - ・登録初年度にはサマーボランティアから当会行事へボランティアの参加があったのですが、昨年、今年とお申し出がなく残念でした。より多くの方に知ってもらうことや参加してもらうために何が必要か、何か気づきがありましたら教えていただければ幸いです。
  - ・昨年度までにはなかったが、今年は予約なしでの体験者が数名いた。
  - ・初めて利用させていただきました。最初は戸惑いましたが、不明な点はお尋ねしながら進めることができました。今後、学校関係者への周知が進んでボランティアへの垣根が少しでも低くなれば、生徒・学生・保護者の方々の地域社会への参加がしやすくなって良いのではないかと思います。
  - ・事務処理的には、受付や集計が簡単にできてよかったです。
  - ・ボランティアのお仕事内容をもっと具体的に紹介したいです。画像やショートムービーをサイトに掲載できるようになると良いと思います。
  - ・不具合もなく、スムーズに運用できました。
  - ・今年度は申し込みの方法がやりやすかったです、多数の方(特に高校生)に来ていただきました。
  - ・分かりやすかったと思います。
  - ・ボランティアの方との直接的なやり取りができるのは良い運用方法だと思います。
  - ・参加者との連絡が取りやすくなりました。
  - ・応募者と直接やりとりができるので、便利です。
  - ・申込者と直接やりとりをする事で、日時や持ち物の確認をしやすかったです。
  - ・今回残念ながらボランティアの利用はなかったのですが、ポータルサイトへのアクセスが実際のどのくらい利用されていたのか気になります。
  - ・ボランティア活動希望者とのやり取りについては問題ありませんでした。申込者と直接、メールのやりとりができて、ボランティアの申込みされた方も社会勉強になったと思います。
  - ・ボランティアに来てもらうと、もちろん助かりますし、若い世代の人と話すことで、いろいろな事を学ぶことができます。とても、ありがたい仕組みです。またよろしく願います。
  - ・どのように情報発信をしたらいいか等、参考になる意見を聞く事ができました。また、参加者から平和についての気持ちも聞く事ができて、今後どのような活動をしたらいのか参考になりました。とても、ありがたい仕組みです。またよろしく願います。
  - ・参加申し込みを受け、その後のやり取りを直接できたためスムーズな連絡を取り合うことができ良かったです。
  - ・学校への広報不足なのか、知らなかった。事業終了後に来たかったのこの声を聞きました。
  - ・普段、パソコンが身近になくまめに確認できないため、ボランティア希望者からのメールを確認する前に、電話連絡が入ると言うことが何度かありました。
  - ・ボランティアの申込をした後、事前に本人様から当所に連絡をしてもらいたいです。こちらに社会福祉協議会よりメールが届いた人数と、当日、来られた人数が違う場合があります。こちらとしてはその人数で予定を立てておりましたので、把握していない方はお断りをしました。せっかく、当所を選んでくれたのにこちらとしても心苦しかったです。特に学生の方等、初めてボランティアを申込み方には、事前に事業所の方に確認の連絡をするよう 助言して頂ければと思います。
  - ・正確な情報のやり取りができたので良かったです。
  - ・直接のやり取りになったことで、打ち合わせ等がスムーズでした。
  - ・誰も見ていないのでは？と思わせるような実績でした。誰も楽なボランティア作業を選択しがちではないかと思っています。
  - ・『サマーボランティア・キャンペーン2025』のPR活動はされたのですか？メディア活動はされたのでしょうか… 私の周りの人はこのポータルサイトのことは誰一人知りませんでした…
  - ・申込者とのやり取りは簡素化できたと思います。申込者と連絡が取れず時間を要しました。
  - ・申し込みのハードルは、受け入れ側募集側とも上がったような印象を受けた。 1. 電話やメールでのやり取り LINEの普及により、メールや電話でのやり取りに慣れておらず返信が思うように返ってこないです。電話で聞いてみるとメールが届いていない、迷惑メールとして振り分けられていて気づかなかったという事案が多数ありました。また、電話についても知らない番号からの着信でとのりに躊躇するという意見もありました。 2. 各市町社協が相談窓口としての機能を有していることを知りませんでした。従来のように社協が調整に入ってもらえると助かる。
  - ・応募者ご本人からのメールを初めて受け取った時、迷惑メールと思って削除してしまいました。「サマーボランティア応募」と明記してもらったらよかったです。
  - ・参加者がより手軽に手続きできるようになってよかったです。
  - ・良いと思います。
  - ・スグフォームのメールが来てなんだらうと思った。もう少し説明が欲しかった。
  - ・質問に対しての答えではないかもしれませんが、ボランティア募集登録フォームの入力で活動期間は自由記載を可能にしてほしいです。期間を連続しての活動ではないので… 電話での連絡も必要をなくして、必要な時はメールでやり取りができるようにしてほしい。
  - ・問題はなかったが、一つの団体が複数のイベントの受け入れをすることが多いと思うので、何度も施設名などを打たなくていいようになればいいと思った。
  - ・登録した施設・団体等のことを多くの人に知って頂きたいと思いますので、今後とも活動への参加継続をと思っておりますので よろしく願ひ致します。
  - ・ボランティア募集のために便利だと感じました。
- ボランティアポータルサイトによる申し込みがあった方で、連絡が取れず、結局ボランティアに来られなくて困った。  
・プログラムの登録さえ行えば、特に負担もなく簡単に利用することができ、サイトも分かりやすくてとてもいいと感じました。  
・直接のやり取りになったことで、打ち合わせ等がスムーズでした。

#### V. 小中学生を受入れた(受け入れる)上で気をつけていること、工夫していること、課題等についてお聞かせください。

- ・施設・団体等で教育を受けた児童を優先的に受け入れている。その他の児童については、内容を詳しく説明し言葉かけ、動きの意味を知ってもらうようにしています。
- ・今回、初めて中学生ボランティアを受け入れましたが、最寄りの中学校からの職場体験学習も受け入れているので、特に課題となる事はなかったです。
- ・面接にてあらかじめ配置の希望を聞くようにしている。不安のありそうな方は単独にならないよう配置しています。
- ・遠方の施設・団体のプログラムに参加する場合の交通手段、安全への配慮も必要になるのではないかと感じました。
- ・事故につながらないような役割を担ってもらい、職員を配置する。
- ・ボランティアに参加した児童・生徒が楽しめるような受け入れが出来たらと考えています。また、児童・生徒が安全に参加できるように配慮出来たらと考えています。
- ・事前に、ボランティア受入日周辺で感染症が発生した場合(施設で発生、学校で発生)は、日程変更などをお願いすること、触れ合いの程度についての打合せをしっかりとすること(例えば、発表を見るだけにしておき握手はなし等)を気を付けています。
- ・青少年条例があるので開催時間とボランティアの内容選定が難しいと感じました。
- ・楽しくさせる心がけています。
- ・保護者の方々への対応が必要だと思います。
- ・事前に自己紹介(趣味・特技・好きな食べ物・参加の動機など)を職員内で共有しておく。その自己紹介の内容で役割を決める。
- ・感染対策を守っていただきたい。そのためには説明、認識の周知が必要であり、時間を要すると考えます。
- ・ボランティア活動に参加したことが、その子の価値観を高められる結果となるようにしたい。
- ・職場体験などもですが、この仕事にふれる機会としてはいいのかもれないとも思っています。希望者があれば少人数の受け入れから検討するのがよいと考えます。
- ・小中学生を受け入れるときには、ご家族との十分な話し合い(打ち合わせ)が必要だと思います。
- ・小学校低学年の子は、トラブルや事故に発展しやすく職員が見守れる体制を確保しながら、受け入れ日を限定して実施する等、工夫を行っています。
- ・気を付けていることは、ケガ・熱中症を防ぐようにできるだけ声掛けをおこなうようにしています。工夫していることは、活動の中に楽しみや遊びをまじえるようにしています。
- ・怪我のないように楽しく遊びたいと思っています。
- ・両親や祖父母と共に参加いただけており、取り組みやすい内容を心がけている。今後も積極的に受け入れたい。
- ・申込みをしてくれたということは、福祉関係のお仕事に興味・関心があるのだと思います。夏休みで、同じ校区内の小学生も遊びに来るので、ボランティアで来ていることを、小学生にも話します。職員と一緒に対応に入るなど配慮をしました。
- ・ボランティア活動の内容をわかりやすく、丁寧に伝えるようにしています。
- ・中学生に関しましては、一人でのお申込みではなく数名でのお申込みが多くその点が少し対応に困りました。そこで、一人ずつの対応をするように工夫しました。今後は、受入れの人数制限をしようかと考えています。
- ・保護者の参加をお願いしています。
- ・集中力が低く、はしゃいで遊ぶため両親との活動が必要であると考えます。また、内容にも工夫が必要で、何故？それ何？のように目を引く物や音が必要だと感じました。小学校教諭らの参加があるともっと工夫できたかもしれない…
- ・親子で参加されましたので、親の指導で活動していただきました。
- ・夏休み期間であるので、参加文書案内だけでなく、学校・保護者との連絡をとり参加日程の共有をしています。
- ・職場体験で中学生を受け入れる際は、周囲の安全などに気を付けるよう伝えています。また、挨拶や言葉遣い マナーなども見られているということ意識するよう参加時に伝えています。
- ・参加者には施設・団体のこと(高齢者・障害者など福祉)を理解して欲しいと考えています。
- ・伝達する際にホワイトボードを活用するなど工夫しています。
- ・小中学生には、高校、大学生になってもボランティアで参加して欲しいと話しています。安全に配慮し、適所で役割を担ってもらうことがいいと思います。社会性を身につける事で賛成です。

- ・夜間の活動であるため、保護者同伴が不可欠と考えます。
- ・多世代と話すきっかけをつくるよう工夫しています。
- ・参加者が負担に感じないような配慮や事前の打ち合わせを大事にしています。
- ・保護者同伴で参加してもらっています。
- ・小学生の個人での受け入れは厳しい面がある。しかし、児童クラブ等の団体で少人数の受け入れ等を行い、機会をつくっていきたくと思います。

## VI. サマーボランティア・キャンペーン2025に受入施設・団体等として 参加した感想を入力してください

- ・参加者は一日、短時間であったため、上手く馴染めていなかった印象を受けました。
- ・今年は3名の方からの申し込みがあり、大変助かりました。ありがとうございます。
- ・一人の参加がありました。参加したボランティアの内容とは違う職業に就くようで、最初はあまり興味を示していなかったが、終了後にかわいい・楽しかったといった感想を頂けてよかったです。
- ・令和6年度は1名の参加もなく寂しい年でしたが、今年度は7名の希望者を受け入れることができました。しかし8月末に感染症の拡大が見られ、最後の2名はお断りすることになり残念でした。5名の参加者は、早朝から夕方まで熱心に活動していただきました。施設・団体等も満足でした。感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・いろんな世代の方々に福祉を知って頂ける機会を設けて頂いて、とても良い取り組みだと思いますので今後も継続して受入施設・団体等として参加したいです。
- ・社会貢献活動に関わっている地域の大人たちと、もっともっと触れ合うことが大切だと思います。
- ・実習やインターンシップ等さまざまな体験の受け入れがあるが、ボランティアに関しては、学びの場ではない分具体的な指導が軽減される分、担当者の負担としては少ないように感じています。
- ・学生にとっては貴重な経験であると感じています。
- ・サマーボランティアでの参加はありませんでしたが、施設・団体のことを知ってもらうきっかけになったと思います。幅広い年齢層の方に参加してもらえるようになると思います。
- ・ボランティア受け入れは、施設・団体等にとっても良い経験になると思います。今後も続けていきます。
- ・参加希望者はいませんが、今後、参加があると嬉しいです。
- ・サマーボランティアからの紹介はなかったのですが、知り合いからのボランティア紹介がありました。高校生5名。ある高校では、ボランティアは大学受験でのプラス評価となるので今回参加されました。動機は様々ありますが、大学受験の評価ポイントに繋がるの高校と情報共有していけば活動が活発すると感じました。
- ・受け入れはありませんが、今後も受け入れ出来るような体制づくりに努めています。
- ・サマーボランティアとしての受入はありませんでしたが、小学校、中学校からのボランティアの連絡が出来るようになりました。ボランティアを受け入れているということに対して発信できることは大変ありがたいと思っています。参加させていだけありがたいと思いました。
- ・もっと広く周知できる方法があれば検討したいと感じました。
- ・30名をこえる方が体験先に選んでくれたことに感謝をしております。今年は看護学生に多数参加してくれました。
- ・参加者も施設・団体等も良い経験でした。
- ・初めて利用させていただきました。親切なご対応をいただき、ありがとうございます。また来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
- ・活動後、ボランティアから、地域福祉に興味があった意見がありました。施設・団体等の活動の重要性や必要性を感じてもらい嬉しかったです。
- ・8月下旬に近隣にお住まいの高校生(男性)より個人的にボランティアをしたいと連絡がありました。せっかくなので、本キャンペーンを通してエントリーを促したところ、数日後にエントリーがありました。それをふまえて、ボランティアへの加入についてお願いをし、加入の仕方(窓口)についてもお伝えしたが、再度数日後に本人から「ボランティア保険に加入するのが難しいのでキャンセルしたい」と電話連絡がありました。(結果としてボランティア活動はしなかった。)一番最初に個人的にボランティア希望の連絡があった際に、どうしてボランティアをしたいのか?と本人に聞いてみたところ「学校の先生から勧められた」とのことでした。では、こういった福祉の仕事に興味があるのか?と聞いてみたところ、「べつにそうではない」との返答でした。どういう経緯で教師からボランティアを勧められたのかは不明であったが、結局のところ「保険加入が難しい」との理由でキャンセルとなり、果たして本人にどれだけの意思があったのか、少し寂しい思いをしました。今後も本キャンペーンへの登録をしていきたいと考えており、次回には少しでもこの仕事に興味がある方が申込みをしてくれると嬉しいです。
- ・参加して良かったと感じる一方で、仕事の内容を紹介する所については全体的に工夫が必要だと思います。また、参加した方の感想などを集約し、公開することで次年度の参加者募集に繋がります。参加者も参加の選定に役立つと思います。
- ・福祉、介護に興味をもっていただく機会になると思います。
- ・園児と高校生との世代間交流が出来、園児も楽しそうでした。保育士の仕事を高校生にアピール出来たと思います。
- ・高校生を受け入れましたが、自分たちから利用者と交流を図っており、利用者の方も若い方々と交流出来るのが嬉しかったです。
- ・短時間の受け入れでしたが、高校生の方々が参加して頂いたことで、施設・団体等にとって良い刺激を頂き、活性化させて頂いたと感じています。
- ・応募の目的はそれぞれですが、活動して頂いた高校生にとって、価値観を高められる結果となれば幸いです。有難うございました。
- ・参加者に園児たちと関わりを持っていただくことで、園児たちがとても喜んでいました。互いに貴重な学びの機会になりました。今後よろしく願います。
- ・実際に子どもと触れ合っていると楽しかった」「また、来た」「子どもから声をかけてもらって嬉しかった」等の声をいただき、お互い有意義な活動だと感じております。今後ともよろしく願います。
- ・この仕事にふれる機会としてはいいのかもしれないとも思っています。希望者があれば今後も受け入れを考えていきたいと考えます。
- ・サマーボランティアでは参加希望者がいなかったため、これからも毎年一人でも多くボランティアに参加していただけるような魅力ある施設・団体等を目指します。
- ・いろんな方々にご参加いただき、子どもたちも職員も喜んでいました。これからの将来についてを考えていく学生さんたちには、保育園がどのようなところかを知っていたく機会になったと思います。来年も、この活動に参加していきたいです。
- ・主に学生さんにも、子どもと接する仕事内容を知ってほしいと考え、毎年受入をしております。今年も3名応募があり、募集をしてよかったです。また来年も受入団体として登録させていただきますので、今後ともよろしく願います。
- ・ボランティアにきていただき、色々な人と子どもたちが触れ合う機会ができて、よかったです。
- ・たくさんの方に参加していただき良かったです。また、普段、関わりが少ない方と触れ合うことが出来、子どもも職員もよい刺激をもらうことが出来ました。
- ・まだあまり知られていない活動なので、もっと知ってもらい、参加者が増えたいと考え、参加させていただきます。ありがとうございます。
- ・専門高校生は最初の連絡時にサマーボランティア・キャンペーンで参加することがはびり伝わってこなかったため、本人たちもよくわかっていなかったようです。ボランティア保険のことなど質問しても要領を得なかったのが気になりました。
- ・参加した高校生の保護者からのメールで、高校生がひとり親世帯の実情に触れていると感じたことがあったとわかりました。ボランティア参加者だけでなく家族にも私たちの活動を知ってもらうことができて有意義でした。
- ・今年は申し込みがなかったですが、来年はぜひ来てもらって一緒に楽しみたいと思います。
- ・また来年も引き続き参加したいと考えています。
- ・短時間でありましたが高齢の利用者方も喜ばれていました。またお願いしたいと思います。
- ・今年度は申し込みがなかったので、次回また夏に参加させていただきます。参加申し込みがあるような募集の掲載の仕方、内容についてもう一度検討したいと思います。ありがとうございます。
- ・高校、専門学校、大学から参加があり、メンバーが高齢化するなかで、若い人たちの熱心な取り組みに接することができ、会員の士気が高まった。
- ・また、共同作業を通じて、若者との交流ができた。これにより、活動参加者の幅が広がっています。10月の活動にはアメリカ合衆国から2名の青年が参加しました。
- ・式典会場設営、受付、式典進行の補助要員として女子高生6名に参加して頂きました。皆さん、明るく元気で、積極的に協力してくださり、大変助かりました。次回も依頼したいと思います。
- ・暑い中ではありましたが、こども達と一緒に水あそびなど楽しい時間を過ごすことができました。ボランティアを通し、様々な方との触れ合いができて良い機会となりました。
- ・参加頂いた3名の高校生は、参加者と打ち解けてリーダーとしての役割を果たしてくれました。大変助かりました。
- ・ボランティアを受け入れるにあたって、今後、施設の規模化により、子どもたちが地域へと生活拠点分散していくことを考えると、「たくさん子どもたちが同じ場所で生活している」というイメージを持って希望される方には「児童養護施設でやりたいこと」へのすれが生じるのかな、と感じました。
- ・いつもたくさんのお申込みをいただきありがとうございます。ボランティアに来ていただく(学生の方はみなさん、心優しく素直な方ばかりで私達も嬉しくなります。帰る時に「楽しかった」「また来たい」と言ってもらえてとても大変、感謝しています。できるだけお受けしたいと思っていますが、子ども達の状況によっては希望の日に受け入れができない場合もありますのでご了承ください。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・初めて参加いたしました。メールでの受付が夏休み期間ということもありなかなか難しかったです。電話のみで対応しようかと考えております。
- ・こどもたちはボランティアの来園をとても喜んでいました。職員以外の人で自分たちを可愛がる、優しくしてくれる存在がある事を体験する事は、人への信頼へ繋がるので大切な経験だと思います。初めて未成年の方の受け入れをしたので、責任が大きく、様々な書類(保護者の同意書や怪我をした際の対応など様々)を一から準備するの、思った以上に大変でした。また、応募者の中には、こちらからの連絡に回答がなく、電話やメールでこちらから何度も働きかけなければならなかったり、中には「虫・外遊でNGで…」と記入してくる方もいて、園でボランティアをする上での気持ちが理解できない事もありました。また、こちらはどちらかという体験をさせてあげたい…(本人は人数的には来て頂く必要はないので、こどもたちの喜びとボランティアの方の経験のためという目的が大きく)気持ちでしたが、感謝の気持ちを無料で提供した所、(本人の希望確認して)嫌いな物があって食べられない…あるいはアレルギーがあるの食べられない物があると当日言われたり、こちらが少し寂しい事もありました。来てあげている…という気持ちがないかな?と思い、ボランティアという言葉をどう受け取れるか考えてしまふ事もありました。教育実習生とは違いため、こどもへの専門的な対応を要求はできませんが、呼び方として「せんせい」とこどもは呼んでくれるので、言葉使いや態度など最低限の事はお話をさせてもらいましたが、その辺りの線引きもかなり難しかったです。ただ、将来の夢に役立つ経験として来園してくれた子ども沢山いて、一生懸命取り組む姿もあり、そういう子たちの今後がとても楽しみだなと感じました。こちらとしても貴重な経験でした。ありがとうございます。
- ・施設の利用者は楽しい時間を過ごすことが出来たようです。また、施設を知ってもらいたい機会になったと思います。
- ・団体の活動に少しでも理解を深めていってほしいとの思いで、市内のコミュニティ誌への広告や、市報のイベント欄を通じて参加を促してきましたが、近年のものづくり離れを反映してか、問い合わせも皆無に近く、メンバー数も増えません。今回のキャンペーンに初めて参加いただきましたが、結果的には新規の参加者はありませんでした。皆さんお忙しいのでしょうか?残念です。
- ・今回、希望された日に加えて、8月末に行った夏祭りのボランティアの声掛けをしたところ、快く引き受けて下さった方もいらっしゃいました。通常の活動日と行事日の流れや職員の動きなども見ていただけたのではないかと思います。これを機に福祉の仕事に少しでも興味を持っていただける方が増えてほしいと願います。
- ・今回のサマーボランティアでは何名の方が参加されたのか伺いたいです。
- ・参加すること…団体の存在を参加団体として、活字の上でも目に入ることは、ありがたいことだと思います。私達の活動自体が、存在自体が知られていないことは、ボランティア誘致に至れないことを毎回痛感しています。次回のサマーボランティアの誘致に繋がりたいと思います。
- ・お力添えを頂き本当に活動の充実につながっていると感じております。また施設を知っていただく機会にもなりますので今後も参加させて頂きたいと考えております。

- ・団体にとっても、団体を代表する個人としてもとても良い経験になりました。また、受け入れた希望者のほぼ全員が複数回にわたって連絡を下さり、「楽しい」と積極的に参加してくれたことがとても嬉しかったです。今後も、通年で受け入れつつボランティアは楽しくやることがあるということをもっと幅広い年代の方々に広めていきたいです。
- ・ほとんどの方が1日のみだったので、少なくとも3回は来て体験してほしいと思います。
- ・子どもたちとよく遊んでくれて助かりました。施設職員と違う年齢層が来てくれて、子どもたちにもいい影響になったと思います。
- ・ご協力いただき、ありがとうございます。ボランティアのみなさんは、明るく意欲的でした。初めは少し緊張している様子でしたが、次第に笑顔があふれ、楽しそうでした。当団体の活動に関心を持っていただくことで、幅広い世代に広がることを願っています。
- ・今回申し込みは、ありませんでしたが、今後もボランティアや保育に興味を持たれた方が、ボランティア活動を体験して 頂ける機会を作っていけたらと思います。
- ・今回、介護等体験の受け入れと重なりお受け入れが難しかったです。申し訳ありません。
- ・サマーボランティア・キャンペーンお世話になりました。当事業所は、固定の電話・ネットワークが取付できない場所なので、全部携帯での受け入れでした。
- ・近年の特殊詐欺で携帯番号の着信の受け入れが難しく、ポケットWi-Fiにも通信量の制限があり、毎日の開所時間中のネット回線をつなげる事も難しかったです。「地域活動支援センター」の活動をどのように伝えていくか、私たちの今後の課題です。
- ・夏休みの期間中だけでも、学生の参加がありとても良かったです。人手が増えるのはもちろんのこと、活気づきます。それと、普段関わることのない人たちと触れ合うことができ、それがボランティアの魅力の1つだと参加した方が言われていて、その後の活動の幅が広がったみたいですね。
- ・高校生が積極的にイベントを手伝ってくれて、とても助かった。
- ・高齢者を対象とした「認知症カフェ」の活動に若い方が関心を持ち、参加して下さったことを大変嬉しく思いました。参加されたお客様も喜ばれたと思います。ありがとうございます。
- ・先にも回答しましたが、施設・団体等を多くの人に知って頂きたいと思っております。今後ともよろしく願います。
- ・月1回の開催日に予想以上の方から応募があり他の日にちに振り分けさせて頂きました。2人は日程が合わずキャンセルになり残念でした。申込み人数を調整できたよかったです。
- ・毎回、受入が乏しく申し訳ございません。何かしら工夫が必要と感じました。実際に児童・生徒がボランティアをする場面の写真などでPRするのもどうだろうか？ 予算がかかるが、ボランティアを終えた後に記念品を渡すのもどうだろうか？ (Tシャツ、シリコンブレスレット【ボランティアの証的な】、タオル、ハンカチ、鉛筆など)
- ・見ず知らずの学生さんが応募してきてくれるのはうれしかったです。当日都合が悪くなり、残念ながら不参加となりましたが、来年もまた利用したいです。
- ・この事業をするにあたり、ボランティアの高齢化に伴い、人員確保が喫緊の課題です。このような企画をしていただき感謝しています。そのため、地域の高校、大学生にボランティアのお願いに行っています。今後共、よろしく願います。
- ・今年も、ボランティアの希望がありませんでした。本会としては残念でしたが、来年も引き続き受入施設として参加させていただきます。
- ・今回は希望者の方が直接申込をするかたちでしたので、連絡がスムーズでした。利用者の方々も喜んでくれるので、来ていただけることはとてもありがたく思っています。
- ・たくさんの学生がボランティアに来てくれ、園児にとって貴重なふれ合いの機会となり良かったです。来年度以降も積極的に受け入れていきたいと思っております。
- ・去年も参加してくれた高校生と今年も会えたのが嬉しかったです。
- ・“平日夜”の活動が他に少ない(?)のか、毎年高校生や看護学生の課題のひとつとして参加してもらっているようです。継続には繋がらないのですが、普段参加している人もその日のトピックとして迎え入れて楽しんでくれています。
- ・若い世代の人が来てくれるだけで、高齢者の方々はとても笑顔になり喜ばれていました。ボランティアの方々も、高齢者の方々と接することで、とてもいい勉強になりました。と感想を述べられ、今後もボランティアの受け入れを積極的に取入れていきたいと思っております。
- ・興味のある方が参加できることで、やりたい事や仕事に対する意欲向上となるため 続けて頂きたいと思っております。当施設は動物を飼育しているため少し大変さがありますが、当施設スタッフと同じ気持ちで頑張っていた方が来て欲しいと思っております。
- ・若い世代との関わりを通して、地域のイベントに対する新たな視点や気づきもあり、私たち受け入れ側にとっても学びの多い機会となりました。地域に根差した祭りが、こうした形で次世代に受け継がれていく意義を改めて実感しています。今後も、こうした地域イベントを通じて、ボランティアの皆さんと連携しながら、安全で魅力ある祭り運営に貢献していければと考えております。
- ・毎年参加しておりますが、現段階で応募は一切ありませんでした。担当職員も支援業務を行いながらの応募作業を行っており、なかなか報われない結果となっております。その点を踏まえてどのようにこの取り組みを活かして運営していくかご検討いただけたらと思います。(他法人では多数応募があつているのかもしれませんが、私どもの企業としての魅力発信が未熟な面も多々あるかと思っております。厳しい事を書いてしまい申し訳ございません。)
- ・ありがとうございました！
- ・参加というよりもただ登録しただけで大変申し訳ないと思いますが、協力できることは今後も可能な限り協力していきたいと思っておりますので、よろしく願います。
- ・多くのボランティアの方に参加いただき、大変助かりました。利用者一人ひとりと丁寧に関わることができ、話し相手、遊び相手になってもらうことができました。
- ・サマー・ボランティアキャンペーンを通したボランティアの受け入れはありませんでしたが、団体としては、小中学生にもボランティアに参加して頂き、認知症カフェの取組みを知ってもらいたいと考えているため、今後も普及啓発やボランティアの受け入れは継続していきたいと考えております。

# 社会福祉協議会編

地域プログラム集計結果

I 報告対象の社協数

21社協

II 事業実施社協・プログラム数

12社協

26プログラム

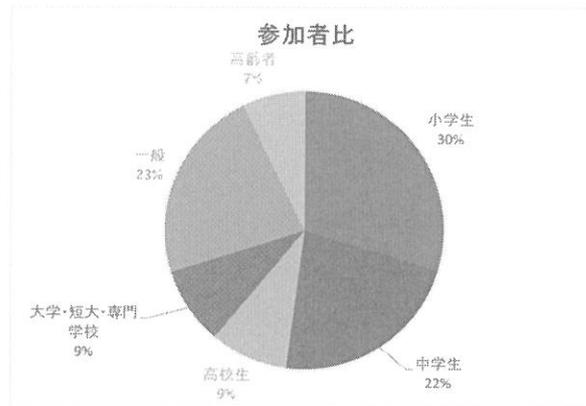
III 参加者数

1,151人

(内訳)

(人)

小学生	中学生	高校生	大学・短大・専門学校	一般	高齢者	合計
342	257	104	104	260	84	1,151



IV 実施内容

～地域での社協の主な取組み～

プログラム名:	ボランティア出前講座(場所:長崎国際大学)	佐世保市社会福祉協議会
【内容】	高齢者福祉施設におけるボランティア活動時の注意点 他	
【実施日】	令和7年7月7日	
【参加者】	48人	
【実施主体】	佐世保市社会福祉協議会(ボランティアセンター)	
プログラム名:	ボランティア出前講座(場所:佐世保特別支援学校)	
【内容】	災害ボランティアセンターについて 他	
【実施日】	令和7年8月26日	
【参加者】	186人	
【実施主体】	佐世保市社会福祉協議会(ボランティアセンター)	
プログラム名:	令和7年度子どもボランティア教室(場所:島原市社会福祉協議会)	島原市社会福祉協議会
【内容】	島原市内小学生を対象に、ボランティアおよび島原市手をつなぐ育成会との交流会(ポッチャ体験・うちわ作り)	
【実施日】	令和7年8月29日	
【参加者】	64人	
プログラム名:	3市若者ボランティア団体交流会	大村市社会福祉協議会
【内容】	長崎市、佐世保市、大村市の若者ボランティア活動者の意見交換やつながり作りのための交流会	
【実施日】	令和7年7月26日	
【参加者】	19人	
【実施主体】	長崎市市民活動センター「ランタナ」	
プログラム名:	福祉体験サポーター養成講座	
【内容】	学校で実施している福祉学習の概要とそれを支えるサポーターの実践について	
【実施日】	令和7年8月5日 令和7年8月19日	
【参加者】	4人	

【実施主体】	大村市ボランティアセンター	
プログラム名:	アロマハンドトリートメント入門講座	
【内容】	アロマハンドトリートメントをとおして身近な人への施術やボランティア活動に役立つ技術を身に付ける	
【実施日】	令和7年8月23日	
【参加者】	13人	
【実施主体】	大村市ボランティアセンター	
プログラム名:	障がい者スポーツを体験してみよう	平戸市社会福祉協議会
【内容】	中学生と大学生がボッチャ、フライングディスクを通して交流した	
【参加者】	11人	
プログラム名:	24時間テレビ街頭募金(高校生)	
【参加者】	12人	
プログラム名:	子ども防災体験教室(小学高学年)	
【内容】	防災意識を高め、自ら考え、判断できる力を育むことを目的に実施した。講話、炊き出し体験、ドローン実演、防災かるた	
【参加者】	14人	
プログラム名:	医療・福祉・介護・保育職業体験(高校生)	
【内容】	看護師、理学療法士、介護福祉士、社会福祉士、保育士を希望する高校生を対象に講話や実践プログラム、病院、保育園等での体験を通して、進路選択に役立ててもらうことを目的に開催した	
【参加者】	16人	
プログラム名:	生月★「こども講座」(小学生・保護者等)子どもが自分を守るために知っておきたいいせつな話というテーマで法テラス弁護士、消費生活センター相談員と交流しながらクイズに挑戦し、ネットトラブル等についての理解を深めた	
【参加者】	19人	
プログラム名:	大島支所「夏休みデイサービス体験学習会」(小学生)	
【内容】	島内の小・中学校の児童・生徒を対象に、デイサービスに通所している高齢者等との交流を通じて福祉への理解と関心を高めることを目的に実施した	
【参加者】	36人	
プログラム名:	ちびっこまつり	対馬市社会福祉協議会
【内容】	出店、出展、子どもが楽しめるゲーム、アトラクション、地域の方も参加しやすいプログラム(地元音頭)の実施などお祭り形式の地域イベントを開催	
【参加者】	180人	
プログラム名:	デイサービス利用者とのふれあい活動 放課後学童の利用者見守り	杵田市社会福祉協議会
【参加者】	54人	
プログラム名:	ボランティアセンターごとう研修会2025	五島市社会福祉協議会
【内容】	ボランティア活動発表(2グループ)と、講演「映画制作から見えてくる地域共生社会について」。	
【参加者】	33人	
プログラム名:	第7回西海市社会福祉大会(駐車場ボランティア募集)	西海市社会福祉協議会
【内容】	社会福祉大会来場者の駐車場誘導	
【参加者】	10人	
【課題】	・7月～9月期でのボランティア募集では、期間限定及び通年募集のメニューをサマーボランティア・キャンペーンにて募集実施しており、地域プログラムのみとしては件数が少ない。	
プログラム名:	夏勉	長与町社会福祉協議会
【内容】	町内の小中学生を対象とした自主学習「夏勉」で児童、生徒の見守りやイベント補助のボランティア	
【参加者】	3人	
プログラム名:	夏休み福祉体験学習(ワークキャンプ)	川棚町社会福祉協議会
【内容】	「ユニバーサルデザインを通して福祉について学ぼう」「認知症きつずサポーター養成講座」「手話で自己紹介をしよう、当事者に話を聞いてみよう」「ボランティアってなんだろう、保護猫ボランティアについて学ぼう」	
【参加者】	36人	

【実施主体】	川棚町社会福祉協議会	
プログラム名:	夏休み保育園・認定こども園体験	波佐見町社会福祉協議会
プログラム名:	夏休み親子工作教室サポートボランティア	
プログラム名:	24時間テレビチャリティー募金粗品づくり	
プログラム名:	24時間テレビチャリティー募金活動	
プログラム名:	使用済み切手仕分けボランティア	
【参加者】	324人	
プログラム名:	福祉スクール(小学生対象)	佐々町社会福祉協議会
【内容】	高齢者疑似体験、車いす体験、手話教室、食育、高齢者との交流	
【参加者】	27人	
プログラム名:	福祉スクール(中・高校生対象)	
【内容】	災害ボランティアについて、災害時の避難行動、非常食体験、避難所用品の使い方	
【参加者】	7人	
プログラム名:	ボランティア協力校ワークキャンプ	新上五島町社会福祉協議会
【内容】	～私たちが創る、より良い町～ と題し、地域を巡り不便な場所を探し出し、グループワークにて改善策を話し合っままとめ上げた	
【参加者】	44人	
【実施主体】	新上五島町社会福祉協議会(本所・地域福祉課)	

V.昨年度に比べてサマーボランティア・キャンペーンに関する相談等の件数は増加しましたか、減少しましたか

増加	7
減少	9
変化なし	4 ※1件無回答

VI.本年度のサマーボランティア・キャンペーンを地域(地域住民・地域の団体)、学校等にどのように周知しましたか

長崎市社協	館内にポスターを掲示
佐世保市社協ボランティアセンター	ボランティアセンターの公式LINE。ボランティアセンター情報誌「くれよん」への掲載 社会福祉協議会(ボランティアセンター)窓口にパンフレットを設置
島原市社協	本所および支所にポスターを掲示。SNS(インスタグラム)への投稿
諫早市社協	パンフレットの設置とポスターの掲示。広報紙への掲載とSNSへの投稿。来館者へのパンフレットの配布と説明(ボランティアの相談に来られた方や、ボランティア活動保険加入者への周知)。市主催の研修会(アクティブシニア養成講座)で案内
大村市社協ボランティアセンター	館内にポスターを掲示。広報誌への掲載。登録ボランティアへメール ボランティア講座で案内
平戸市社協	広報誌にて紹介。医療・福祉・介護・保育職業体験終了後にチラシを配布し、説明を行った。
松浦市社協	館内にポスターを掲示
対馬市社協	本所、各支所でのポスター掲示、パンフレットを配布
壱岐市社協	広報誌に掲載。市内の中学校4校と高校2校へパンフレットを配布
五島市社協	各団体に案内を郵送した
西海市社協	
雲仙市社協	支所が入居している公的施設内にポスターを掲示。ホームページへの掲載。 各種福祉関係団体の会合で案内。市内高校に出向いて案内。主催イベントの際にポスターを掲示
南島原市社協	館内にポスターを掲示した
長与町社協	館内で回覧、ポスターを掲示した
時津町社協	ポスターを掲示。パンフレットの設置。広報紙への掲載(自治会への全戸配布)
東彼杵町社協	館内にポスターを掲示。ホームページにリンクバナーを設置。広報紙への掲載
川棚町社協	館内にポスターを掲示。ボランティア連絡協議会各団体へのパンフレット配布と概要説明。福祉体験学習の際にパンフレットを配布して概要を説明。町公式LINEでの情報発信の依頼。役場企画観光課(ボランティア担当職員)にSNS(Instagram)などでの情報発信の依頼。教育委員会・ボランティア協力校で概要を説明
波佐見町社協	高校・大学の学生課及びボランティアセンター、講師に直接案内 教育委員会経由で全児童へ案内配布
小値賀町社協	館内へのポスター掲示、パンフレット配布
佐々町社協	ポスターを掲示。町の広報紙と社協だよりへの掲載
新上五島町社協	学校へパンフレットを使って案内。館内にポスターを掲示。窓口にパンフレットを設置

VII.ボランティアポータルサイトに関するご意見をお聞かせください

長崎市社協	ポータルサイトの運用により、参加する市民にとってボランティアがより身近なものになったのではないかと考えます
佐世保市社協ボランティアセンター	若い世代にはネット検索が便利ではあるが、高齢者には難しいように感じる
島原市社協	昨年度に比べて窓口への問い合わせが減少したのは、ポータルサイト上で申込手続きが完結するため、参加者にとって利便性が向上した結果だと感じています。 パソコンやスマートフォン上でプログラムの確認や、申込みが出来るようになったのは手軽でいいなと思ったが、窓口での説明や配布用にガイドブックとまではいかないが、簡単な冊子があるといいなと思った 申込者や人数の把握は出来るが、確実に参加したかや、参加してどうだったか(感想など)がわかるともっといいと思った ボランティアポータルサイト内で、市町社協から直接申込み内容の確認が出来たら
諫早市社協	

平戸市社協	有難いなと思った 学校(主に高校)が生徒にサマーボランティア・キャンペーンへの参加を推奨していて、その流れで学校側からまとめてボランティア活動保険の加入があったときの対応について、学校とのやり取りが大変だった 窓口にてコーディネートをすることが少なくなったため、受入施設とつながる機会が減ったので、他の繋がる方法を考えたい
大村市社協ボランティアセンター	申込状況などが市町社協でも確認できるとよい(ボランティア保険の加入に来所があるかなどの把握のため) ボランティア活動証明書の様式を受入側がDLできるようにしてはどうか
平戸市社協	特になし
松浦市社協	特になし
対馬市社協	特になし
壱岐市社協	今までのやり取りに慣れているため、有効活用できるように検討する
五島市社協	特になし
西海市社協	特になし
雲仙市社協	当初、ガイドブックを廃止し、社協窓口を通さず、ポータルサイトでの申し込みを行うということに対し、疑問が生じていたが、いざキャンペーンが始まったら、予想を上回る参加者があり大変驚いている。参加者の話を聞いてみると、自宅や学校で気軽に申し込みができて便利であるという声が一番多く、ボランティア活動に関心があっても、実際、社協窓口に出向き手続きを行うことが億劫であるということを思っている市民が多いことをあらためて実感した
南島原市社協	特になし
長与町社協	ポータルサイトになり事務手続きが迅速、正確にできるようになった
時津町社協	ポータルサイトの運用開始に伴い、参加者がより手軽に手続きをできるようになった 点良かった 該当社協にも情報共有していただき、ボランティア活動保険に加入に来た際もスムーズに声掛けを行うことができて良かった
東彼杵町社協	特になし
川棚町社協	申し込み完了の前に「活動上の注意を一読した」とチェックできるポイントがあると良い。社協職員から直接レクチャーする機会が無い プログラムを選択する画面で団体名表示だけでなく、活動内容の一部が表示されると、詳しい内容を見ていただけるのではないかと
波佐見町社協	特になし
小値賀町社協	特になし
佐々町社協	ポータルサイトで申し込んで完了と思い込んでいる人がほとんど(特に若い世代)で、登録の電話番号に連絡しても出してくれずメールの返信もなく困った
新上五島町社協	ポータルサイトを利用してのやり取りが無かったので、何とも言えない

## X. 貴会が考えるサマーボランティア・キャンペーンの課題をお聞かせください

長崎市社協	特になし
佐世保市社協ボランティアセンター	今年度より、ボランティア活動希望者が直接アクセスし活動先への連絡をする形となっているため、センターとしては、活動者と直接対面する機会が少なくなっている。また、活動希望者と直接対面しないことから活動希望先の種別によって活動時の注意点などをお伝えすることができない(不十分であると感じる)
島原市社協	ポスターやSNSに加え、地域の回覧板や、小中学校で配布されるプリントなど、より多様な媒体を活用することで、これまで情報が届きにくかった層にもアピールできると考えます。特に「家族参加」プログラムは、子ども本人だけでなく保護者への周知が鍵となると考えます
諫早市社協	参加する人は複数のプログラムに参加したりするけど、しない人は全くしなかったり、サマーボランティアの存在さえも知らなかったりするので、もう少し広くサマーボランティアの存在を知ってもらえたらいいと思う 高校生、専門学校生、大学生の参加が多数で、それ以外の大人や幼児、小中学生の参加が少なく感じた
大村市社協ボランティアセンター	学校で聞いて知っているか尋ねてみても、先生は知っていて生徒は知らない、という事もあった
五島市社協	高校生ボランティア担当の先生が生徒に声かけをしたが、生徒はほとんどがボランティア活動に

下川町社協	消極的であったり、保険料の支出も難しい生徒がおり、活動に結びつかなかったと話があった
松浦市社協	特になし
対馬市社協	夏のイベント実施については熱中症の不安がある。市内の介護施設では納涼祭などイベントが実施されているものの、施設や法人内のスタッフで対応されていることが多く、感染症のリスク回避や対応等の懸念もあり、外部のボランティア募集などはあまり積極的でない印象がある
壱岐市社協	特になし
五島市社協	特になし
西海市社協	特になし
雲仙市社協	サマーボランティア・キャンペーン実施期間中において、市内で沢山の団体やグループが独自にボランティアを募り、各種イベント等を行っているが、社協組織としての情報を把握が上手くできていないため、ボランティア活動の地域プログラムとして巻き込むことができていないのが現状である。このことを踏まえ、ボランティアセンターの周知を幅広く行い、多種多様な団体やグループにボランティアセンターに登録してもらう必要があると考える
南島原市社協	特になし
長与町社協	今年度は、参加者が少なかった
時津町社協	社協へ来館されない方への周知方法 町内にプログラム数が少ない コロナ後も受入れに消極的な施設が多い
川棚町社協	周知に関しては例年以上に行政やボランティア団体へ周知の機会を持つことができた。その中で「"サマーボランティア"って聞いたことはあるけど福祉関係のものばかりだと思っていた」「安全な団体と判断された上でプログラムは掲載されているのか」「小学生ができるものがあると良い」などの言葉があり、丁寧に説明していく必要があると感じた
波佐見町社協	対象者への周知、プログラムの内容(福祉にとらわれる必要はないと思うが、内容は線引きが必要ではないか?)
小値賀町社協	プログラムに登録数はかなりの数があるが、実際に実施している数は登録数に比べてかなり少ないと感じる(ポータルサイトの利用など色んな工夫をして伸びてきているとは感じる) 本町に関しては、問い合わせすらない状況である。ただ、人員不足でなかなか手が回らないのも現状であるため、実際に問い合わせや、参加依頼があった場合は負担となりうると感じるのが正直なところ
佐々町社協	今年度は町内の方からの申込みがなかった
新上五島町社協	課題が思いつかないのが課題?なんで参加者がいないのかわからない。ノベルティとしてTシャツなどを用意してはどうか。参加してみてボランティアの大切さが身につくきっかけになるのではないかと

## XI. サマーボランティア・キャンペーン2025全般に対する感想を入力してください

長崎市社協	更なるサマーボランティア・キャンペーンの活性化を希望します 取り組みありがとうございます
佐世保市社協ボランティアセンター	ポータルサイトを利用し活動先を選定する中では、ボランティア活動希望者にとって便利な部分もあるが、便利さ故にセンターへ来所されサマボラについての問い合わせが減っているように感じる センターとしては、活動者、活動先を繋げるマッチングの他、活動後のフォローも以前に比べにくい状況である
島原市社協	
諫早市社協	今年度、初めてサマボラに携わったが、意外に多くのボランティアがあることに驚いた 今回、QRコードでプログラムの検索や申し込みが出来るようになって、手軽に参加できるようになったと感じたが、高校生、専門学校生、大学生以外の申し込みが少ないように感じた 特に子供の参加は、保護者の同伴が必須だったりもするので、保護者が忙しい家庭だと参加が難しいのかと思う。その点をうまく改善し、子どもたちに広くボランティア活動に参加してもらえる機会を増やしたいと感じた
大村市社協ボランティアセンター	参加者が受入側と直接やり取りができるというのは便利だと思うが、市町社協が何も把握できない状況には不安がある ボランティア活動保険は、サマボラ参加者は加入が必要と案内をしているため、受入側は保険に加入して参加していると思っているのでは(実際は未加入も多いのでは)

平戸市社協	特になし
松浦市社協	特になし
対馬市社協	市内の施設等にもキャンペーンの周知はしていただいているが、地元社協からもPRできるよう努めたい
壱岐市社協	今年度は参加者がリポートで数回参加されることがあったので、来年度も参加しやすい環境を案内できればと思っています
五島市社協	特になし
西海市社協	サマーボランティア・キャンペーンの募集と、地域プログラムの募集についての違いを明確にしてもらう方が募集の段階でもわかりやすい。加えて、サマーボランティア・キャンペーン期間中に活動した通年事業へのボランティア参加者数も報告しているが、分けた方が良かったのでしょうか。その集計の方法について説明があれば助かります
雲仙市社協	今回、あらたな試みとして県社協の担当者の方は、大変ご苦勞されたと思う。本会職員より、ボランティア活動希望者と活動機関との連絡調整を含む橋渡しが無くなった分、受付窓口でボランティア活動保険の説明が入念にでき、活動希望者とコミュニケーションが上手く取れたという意見が上がっていた。今後、ボランティアポータルサイトが定着していくことが予想されるので、より一層、県社協と協力してボランティアの啓発活動等を行っていきたいと考える
南島原市社協	特になし
長与町社協	今年度からポータルサイトになり便利になった事は良かったが、参加者が少なかった。周知不足でもあったので、来年度はinstagramで動画をアップするなど新しいことにチャレンジできればと思います。
時津町社協	手続きの簡略化ができてとてもよかった。来年度はその点も併せて町民に周知をしていきたい
東彼杵町社協	特になし
川棚町社協	ポータルサイトが開設され、調整業務量は削減されたことを実感した。保険加入時まで、受入団体とのやり取りが完了したかどうかの確認が取れなかったことは、不安点であった 各市町ボランティア団体に対して、サマーボランティアを通じて活動範囲の拡大や活動人数の増加に繋がるメリットがあること等を説明する機会があると事業の活発化に繋がると思う 受入団体のみ、参加者のみでキャンペーン後に集合し悩みや反省点を話す機会があるといいのではないかと。口コミの影響力は大きいと思う
波佐見町社協	特になし
小値賀町社協	特になし
佐々町社協	ポータルサイトのみでの申込みとなり、活動希望者と直接会わないまま受入先にお任せすることが不安だった。町内で受入先として登録した団体は、本会が窓口となり連絡調整を行うことで特に問題はなかった
新上五島町社協	サマーボランティア・キャンペーンを活用した申込み結びつかない

# 参加者編

## ◇参加者アンケート

回答者56名

Q1 住所地を選択してください。 Q2 年齢(年代)を選択してください。 Q3 過去にボランティア活動に参加したことはありますか？

住所	人数	比率
長崎市	22	40.7%
佐世保市	6	11.1%
諫早市	6	11.1%
大村市	3	5.6%
平戸市	1	1.9%
西海市	1	1.9%
雲仙市	5	9.3%
長与町	4	7.4%
時津町	4	7.4%
東彼杵町	4	7.4%
合計	56	103.7%

年齢	人数	比率
10代	50	92.6%
20代	1	1.9%
30代	2	3.7%
40代	1	1.9%
50代	2	3.7%
60代以上	0	0.0%
合計	56	103.7%

ボランティア経験	人数	比率
あり	19	35.2%
なし	37	68.5%
合計	56	103.7%

Q4 サマーボランティア・キャンペーンをどのようにして知りましたか(複数回答可)

媒体	人数
インターネット(ボランティアポータルサイト)	12
社会福祉協議会の広報	6
行政(県・市・町)の広報	3
その他(新聞・各種情報紙等)の広報	0
ポスター・チラシ	11
学校の教授・先生からの案内	31
友人・知人等からの案内	10
SNS	0
その他	1

※兄弟からの紹介

Q5 今回、申込の際にWEB申込を活用しましたか

	人数	比率
申込みをした	55	98.2%
申込みをしなかった	1	1.8%
合計	56	100.0%

※申込み概要を把握していきなく、  
直接、電話で申し込んだ

Q6 サマーボランティア・キャンペーンに参加してみた感想をお聞かせください。

- ・自分がイメージしていたよりも大変でどうしたらいいか分からなかったけど、施設・団体の方が教えてくれてすごく楽しかったです(雲仙市 10代)
- ・初めてだったため、最初は結構戸惑ったが、最後は施設・団体を利用される方(子供)と上手くコミュニケーションが取れるようになったり、勉強などで頼りにされたことが嬉しかったです(西海市 10代)
- ・将来の夢を保育士と考えてるので、3日間子ども達と関わることができて楽しかったし、いい経験になりました(大村市 10代)
- ・利用者の方も職員の方々も優しく丁寧に教えていただいたので利用者の方と少しずつ自分から関わることができました。利用者の方は職員やボランティアの私に声を掛けたり、ぬりえを真剣にされていたりと自分ができることは自分でするなどの意欲が感じられた。  
また、ぬりえの塗り方でもいろんな色を使われるなど一人ひとりで個性が出ていて凄いなと思いました。レクリエーションにも参加をさせていただき、利用者の方、職員の方と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。すごくいい経験になりました(東彼杵町 10代)
- ・施設・団体の方が優しくとてもボランティアしやすい環境だった(諫早市 10代)
- ・保育の現場を直接見て、より一層子供と関わる仕事がしたいと思いました(時津町 10代)
- ・今回は初めて障害児施設でのボランティアに参加しました。今回のボランティアでは、障害についての認識が変わるような

- 体験ができました。例えば、障害の特性を理解できたことや、素晴らしい能力(響きのある歌声や作品)には感銘を受けました  
これからもボランティアの機会があれば申し込みたいです (長崎市 10代)
- ・子供達とたくさん触れ合えてたのしかったです (諫早市 10代)
  - ・とても良い経験になったと思います (長崎市 10代)
  - ・良かったです (東彼杵町 10代)
  - ・幼稚園でのボランティアでは、貴重な体験ができました。幼稚園や、幼稚園の関係者の方の力になれてよかった (佐世保市 10代)
  - ・地域の人と交流をすることができて楽しかったですし、貴重な体験が出来て良かったです (雲仙市 10代)
  - ・介護職への転職を希望しており、ボランティアを通じて高齢者施設を体験してみたいと思い参加しました。参加したグループホームは、アットホームな雰囲気職員さんも親切な方ばかりでした。初ボランティアという状況を汲み取ってくださり、できることをさせていただきました。利用者さんの話し相手は話を広げることができず難しさを感じました。次はもっとお役に立てるよう、高齢者に関する勉強をして参加したいと思います。快く受け入れてくださった施設の皆様に感謝申し上げます (長崎市 50代)
  - ・勉強はもちろん休憩時間の会話や質問と一緒に勉強を行うなど子どもと距離も近くなった。またより多くの知識をつけてくれたと思います (長与町 10代)
  - ・保育士さんの仕事の内容や、実際に働いている人の思いなどが聞くことが出来ていい経験になりました (諫早市 10代)
  - ・もっとボランティアを広めていきたいと思った (大村市 10代)
  - ・長崎市浜の町のゴミ拾いに親子で参加しました。私達以外の参加者の皆様は、複数回参加の方ばかりで、気持ちの良い方々でした。頭が下がる思いがしました。機会があればまた参加したいです (長崎市 40代)
  - ・楽しかった (大村市 10代)
  - ・普段はあまり関わることのなかった場所で様々なボランティアをすることができ、とても良い経験になりました (佐世保市 10代)
  - ・いろいろな方々とお話ができ嬉しかったし、楽しかったです (諫早市 10代)
  - ・以前、違うサイトを通じて参加したボランティアとは違ってしっかりと団体の方が対応してくださり非常に良かった。1人で参加したが他の参加者の方ともお話ができ良かった (諫早市 10代)
  - ・たくさんの子供たちや施設・団体の方と関わって楽しかった (佐世保市 10代)
  - ・ボランティアに参加することで普段はできない貴重な体験ができました。ボランティアに対しての意欲も高まったと感じます  
また機会があれば参加したいと思います (佐世保市 10代)
  - ・普段小さな子どもと関わる機会がないので、新鮮で貴重な体験をさせてもらいました。子どもたちとのふれあいの時間はあっという間でとても楽しかったです。また機会があれば、参加させてもらいたいと思いました (時津町 20代)
  - ・とても楽しかったです。また機会があれば、参加させてもらいたいと思いました (諫早市 10代)
  - ・普段できない活動を体験でき、将来の夢も変わりました (佐世保市 10代)
  - ・ボランティアはアルバイトと違い、もちろんのことお金はもらえません。わかっていながら参加したつもりでしたが、実際行ってみると、ボランティアでやってるんだからそこまで求めないでくれという気持ちが芽生えてきました。見返りを求めず、自主的にするボランティアがどれだけ勇気が必要でどれだけ根気のいるすごいことなのか改めて感じました。しんどいこともありましたが貴重な経験が出来ました。ありがとうございました (平戸市 10代)
  - ・障害者の方の通う、福祉施設でボランティアをしています。大変な事も多々ありますが、新しい経験を積むことができ、また、自分の知見が広がり、自分の糧にもなり、少し嬉しく思います (長崎市 30代)
  - ・今まで、小さい子と関わる機会があまりなかったので、ボランティアに関わることができて嬉しかったです (時津町 10代)
  - ・申し込みの流れもわかりやすく、沢山の場所があり良かったです。ボランティア先では、将来につながる勉強ができました。とても楽しかったです (長崎市 10代)
  - ・視覚障害をお持ちの方と楽しく活動ができました。またボランティアをしたいです (雲仙市 10代)
  - ・楽しく参加することができました (長崎市 10代)
  - ・もう一度したいです (長崎市 10代)
  - ・初めてのボランティア活動への参加でしたが、施設・団体の方も快く迎えてくださり、活動への意欲がとても芽生えました。

このボランティアで新たな発見や達成感があってよかった（長崎市 10代）

- ・とてもいい経験になりました（長崎市 10代）
- ・海岸清掃を行い、綺麗になった地元長崎の海岸を見て、清々しい気分になりました。関係者とのコネクションもでき、今後も継続的に参加出来ればと思ってます（時津町 50代）
- ・初めて障害者の方の通所施設にボランティアとして参加しました。大変難しいことも多かったのですが、勉強になることも多く、ボランティアとして経験をすることが出来て良かったです。障害者の方々の人生を真剣に考えて、働かれている職員の方の姿に感動しました。（長崎市 30代）